

第47回 フォトダイジェスト
尾花沢雪まつり
徳良湖 WINTER JAM



8~9P カラー特集
4年ぶりの本格開催となった雪まつりを写真で紹介。
各地区で行われたイルミネーションの様子もご覧ください。

市報 雪とスイカと花笠のまち
おばなざわ

★市報はこちらからもご覧いただけます



市公式
ホームページ



マチイロ



ヤマガタ
イーブックス

★LINE登録はこちら



尾花沢市
公式LINE



もくじ

- 2 … 令和5年度から市報が月1回発行に変わります
- 4 … 今冬の豪雪の記録 / 6 … トピックス
- 8 … 尾花沢雪まつり WINTER JAM 写真ダイジェスト
- 10 … おばなざわ日記 / 12 … みんなのページ
- 14 … お知らせ / 16 … おばなざわ事典

令和5年
3月
No.860

第1回花笠ラングライフ大会は
こんな感じでした

尾花沢での第1回のラングライフ大会は、昭和56年3月29日、長根山～徳良湖周辺を会場に開催されました。コースは3km・5km・10km。約90人が参加し、全員が「完歩証」をもらいました。



おばなざわ事典
ラングライフスキー
クロスカントリイ用の細いスキーを履き、自然と触れ合いながら山野を歩く「ラングライフ」。競技ではないため、それぞれのペースで滑り、タイムは競いません。子どもから大人まで楽しむことができ、冬の健康づくり、体力づくりにもなるので生涯スポーツとしてもおすすめです。

第43回花笠ラングライフ大会が開催されました！

現在、県内で唯一ラングライフの大会を開催している尾花沢。2月26日に、2年ぶりに行われ、県内外から約100人が参加しました。徳良湖の花笠グラウンドをスタートし、高宮農場方面まで行って帰ってくる1周3kmのコース。3km・6kmのどちらかを選んで歩きます。当日はあいにくの吹雪でしたが、徳良湖に広がる真っ白な雪原の中、参加者たちはそれぞれのペースで歩くスキーを楽しみました。



お楽しみ抽選会
も行われました😊



市の人口と世帯

	3月1日 現在	前月比
男	7,080人	(-11)
女	7,277人	(-25)
計	14,357人	(-36)
世帯数	5,219戸	(-10)

先月中の動き (届出件数)	
出生	3人
死亡	22人
転入	8人
転出	25人
婚姻	1組

表紙

尾花沢で育ったお米と牛肉、おいしいね！

子どもたちに尾花沢の特産品を味わってもらおうと、市内の全保育園・幼稚園の給食に「雪きらり」の米と「雪降り和牛」が提供されました。おもだか保育園ではハンバーグになって登場。バレンタインデーにちなんでハートの形のニンジンも乗っています。「いただきます！」のあいさつが終わると同時に、ハンバーグにかぶりつく子どもたち。ツヤツヤのごはんもあつという間に完食。地元の恵みいっぱい給食でお腹もいっぱいになりました。(2月14日 おもだか保育園にて)



昭和52年4月15日号

この月から「市報」と「お知らせ版」の発行日が15日と1日の2回に変更。



昭和51年7月25日号

「お知らせ版」発行第1号。この時代の「市報」は毎月10日発行で、この月から25日発行の「お知らせ版」が加わりました。



令和2年5月1日号

令和2年冬から新型コロナの感染拡大で社会は大きく変化。打撃を受けた飲食店を助けるため、出前クーポン券付「お知らせ版」を計9回発行。



令和元年11月15日号

平成から令和に改元された5月1日に新庁舎開庁記念式典、10月に市制施行60周年など、記念行事満載の年でした。



平成元年2月1日号

昭和から平成に元号が変わって初めて発行された「お知らせ版」。平成元年になって初めて生まれた赤ちゃんが表紙を飾りました。



令和3年7月15日号

新型コロナの影響で1年遅れで開催された「東京オリンピック2020」の聖火リレーを特集。



令和4年3月15日号

大石田町と合同で初めて企画した広報紙でのグルメ特集。となり町を知ることで交流の輪が広がるきっかけに。

令和4年2月15日号
読者アンケートで情報提供いただいた芦沢の行事「獅子かぶり」を紹介。

これまでの市報・お知らせ版をちょっと振り返り!!

- 過去の市報は、悠美館で閲覧できます。
(平成元年1月以降の市報は原本あり。それ以前の方は縮刷版で閲覧。)
- 昭和29年9月号～令和元年11月号の市報をPDFデータにまとめたCD(2枚組)もあり。閲覧希望の方は広報係まで。

令和5年度から市報が月1回発行に変わります

市報とお知らせ版を合併月1回の発行へ

「市報おばなざわ」は、15日号の市報と、1日号のお知らせ版を発行し、各集落の区長・隣組長を通じて、毎月2回全戸配布してきました。

市報は、「市民に一齐に漏れなく市政情報を届ける手段」や「市の出来事を記録する資料」のほか「紙面を通じて市民同士がつながる交流の場」としての役割も担う大切なものです。

しかし近年、デジタル技術の発達によるスマートフォンやタブレットなどの普及が進み、情報収集手段が多様化してきています。また、SDGsの目標にある紙の削減を推進する観点からも、市の広報のあり方を見直す時期になりました。

今後は、市報の発行は月1回とし、ホームページやSNSなどの情報伝達手段を活用しながら、市民の皆さんへ市からの情報を届けていきます。

【市報の配布方法】

これまでどおり区長・隣組長さんを通じて配布させていただきまので、引き続きご協力よろしくお願いいたします。
※なお、チラシ等の配布も、市報に合わせて月1回となります。
◆総務課行政係
☎(22)1113【内線237】

「市報おばなざわ」今後の発行スケジュール

- 4月1日号 「お知らせ版」を発行
 - ↓
 - 4月15日号 発行しません(チラシ等の配布もなし)
 - ↓
 - 5月1日号 リニューアルした「市報」を発行
- ※以後月1回、1日付で発行していきます。
(5月1日号～翌年4月1日号までの年12回)



市報やお知らせ版に「QRコード」が掲載されていることにお気づきですか？

スマートフォンで読み取りアクセスすると、紙面に書ききれない情報も見ることができます。今後も積極的に掲載していきますので、ぜひご活用ください。

こんなことを市報で紹介してもらって助かるなあ

うちの地域ではこんな取り組みをしているよ!

ご意見・リクエストなどお待ちしています

今後もより良い紙面づくりや皆さんに役立つ情報を発信するため、ご意見・情報をお寄せください。
〒999-4292
尾花沢市若葉町1丁目2番3号
尾花沢市役所 総合政策課 広報係
TEL (22) 3750(直通) FAX (23) 3004
Eメール kouhou@city.obanazawa.yamagata.jp

時代とともに歩んでいく「市報おばなざわ」

過去の市報を見てみると、当時のリアルな尾花沢の暮らしが伝わってきます。時代によって社会情勢はもちろん、尾花沢に住む人も年齢構成も考え方も変わり、求められる情報も変化していく中で、これからも皆さんのニーズを把握しながら、市からの情報を心待ちにいただける市報づくりを目指していきます。



▲除雪中のかかしも大雪にギブアップ!
(市野々地区)



▲道路脇の雪壁は3mを超えたところも。
(若葉町地内)

市では、アメダスのほかに各地区に独自の観測地点を設けて積雪状況を毎日観測し、データを集積しています。12月2日の初雪から各地区にどれだけの雪が積もったのか、積雪データをまとめました。

グラフで見る積雪記録



12月15日から本格的な「おばねの冬」を迎えると、年末年始にかけて大雪に。倒木による停電や、毎日の除雪が追いつかず、市民生活にも大きな影響が出ました。今冬の豪雪を振り返ります。

◀2月13日には市長、議長、関係課長が総務省等に出向き、除排雪対策費等の増額を求める要望活動を行ってきました。

12月15日から本格的な降雪シーズンを迎えると、年末年始に豪雪となり、1月3日には市内5地区の平均積雪量が172cmに達し、同日午前10時に豪雪対策本部が設置されました。その後雪の降らない日が続いたものの、1月下旬からまた雪が降り出し、1月29日には、今季最大積雪深となる202cm(5地区平均値)を記録しました。

一気に降り積もった大量の雪による倒木で、停電が発生。また1月から2月中旬までの間で真冬日が13日、最低気温がマイナス8度以下の日が14日と、寒い冬となりました(気象庁データより)。家庭では水道管の凍結、消雪道路では積もった雪が解けずに氷の塊となって車両通行が困難になるなど、市民生活に大きな影響が出ました。

今年も降った! 今冬の豪雪の記録

各地区の最大積雪深と累積降雪量(令和5年2月27日時点データより)

尾花沢地区	最大積雪深	累積降雪量	各地区観測地点	最大積雪深	累積降雪量
アメダス	183cm (R5.1.29)	817cm	福原(野黒沢)	188cm (R5.1.29)	921cm
消防署観測地点	217cm (R5.1.29)		宮沢(押切)	206cm (R5.1.29)	722cm
5地区平均 (消防署観測地点・福原・宮沢・玉野・常盤)	最大積雪深 202cm (R5.1.29)	累積降雪量 883cm	玉野(鶴巻田)	192cm (R5.1.29)	994cm
			常盤(三日町)	208cm (R5.1.29)	962cm

用語解説

- ①積雪深: 観測日時時点で自然に積もっている雪の高さを計測したもの。気温や風の強さなどによって雪の沈み込みなどがあるため、累積降雪量とは異なります。
- ②累積降雪量: 初雪観測日から最終観測日までの降雪量(その日降った雪の量)を合計したもの。

※参考: 尾花沢市公式ホームページ
「暮らし市の情報」→「雪対策」をクリック
<https://www.city.obanazawa.yamagata.jp/dekigoto/snow-measures/>

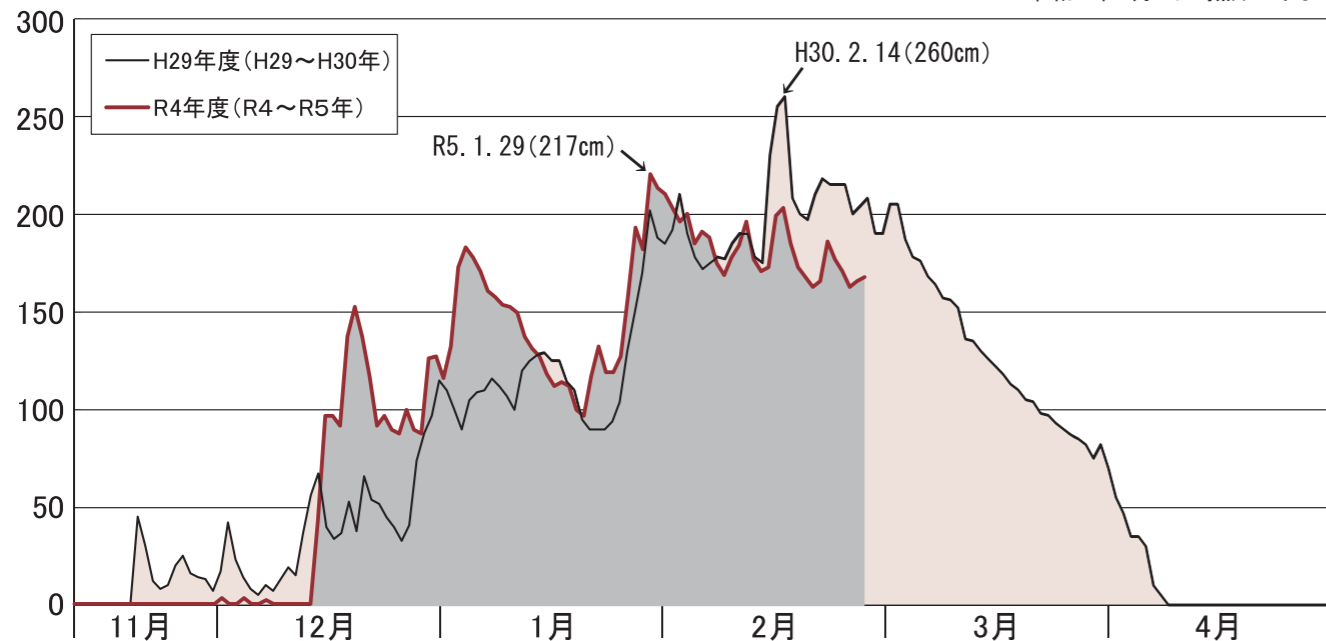
スマホをお持ちの方はこちらから



積雪深
(cm)

今冬と平成29年度大雪との積雪深の比較 (尾花沢市消防本部自主観測)

令和5年2月27日時点データより



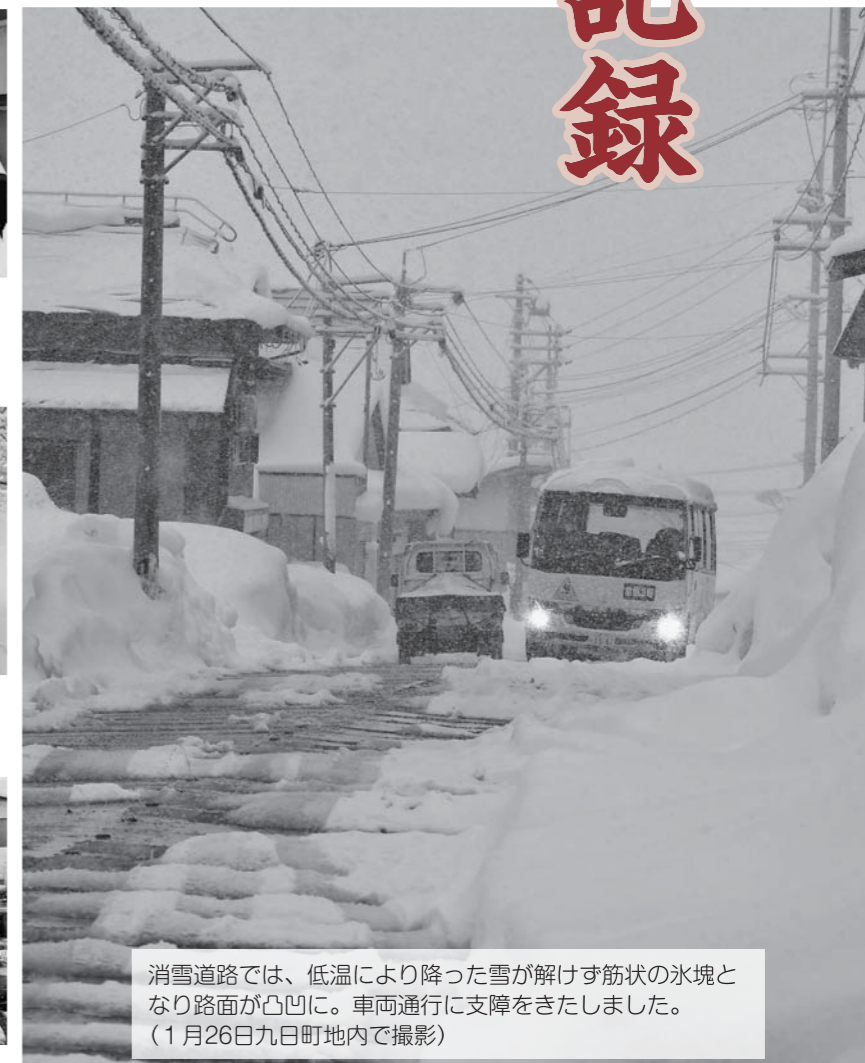
▲市外から企業の社員や大学生が訪れ、自力で除雪が困難な高齢者宅の除雪ボランティアを行いました。



▲交通確保のため、昼夜懸命に行われた除雪作業。



▲市内各地で水上がりも発生。(横町地内)



消雪道路では、低温により降った雪が解けず筋状の氷塊となり路面が凸凹に。車両通行に支障をきたしました。(1月26日九日町地内で撮影)



▲尾花沢すいかの「ソルベ」。果汁たっぷりのシャーベットは、まるでスイカそのものを食べているような味わいです。



▲尾花沢すいかの「ゼリー」。冷やしてゼリーとして、凍らせてシャーベットとしても楽しめます。常温で持ち運びもできるのがお土産にも。



▲尾花沢産米「雪さらり」の「バウムクーヘン」。米粉のしっとり感とスイカ風味のクリームがマッチ。見た目もかわいくお土産にも喜ばれそう。

夏すいか生産量日本一を誇る「尾花沢すいか」を一年中味わってもらえるよう、尾花沢すいかを使用したソルベとゼリー、スイカの形を再現したバウムクーヘンの3品を、新たに開発しました。

トピックス
TOPICS 3
尾花沢すいかの
スイーツ3品を発表！

尾花沢すいかを使ったスイーツが完成し、2月20日にレストラン徳良湖で発表会が行われました。

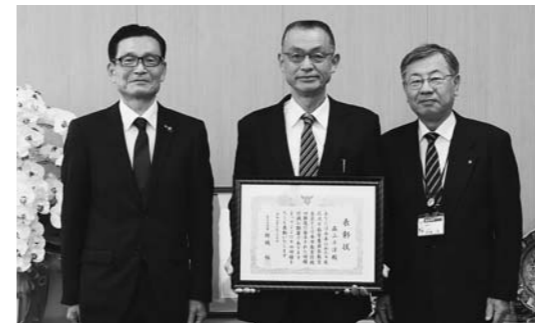
尾花沢農産加工(有)やJAみちのく村山などが加入する尾花沢市特産品開発協議会が、昨年度開発した尾花沢すいかのタレとドレッシングに続き、今年度はスイーツの開発を進めてきました。

出来上がったのは、尾花沢すいかの果汁たっぷりのソルベとゼリー、尾花沢産「雪さらり」の米粉を使い、スイカの形をかたどったバウムクーヘンの3品。ソルベとゼリーは、加工品では難しいとされるスイカの味を、生のスイカに近い味わいに活かしており、バウムクーヘンはスイカそっくりの見た目が楽しめます。

新たに完成した3種類のスイーツは、4月頃から販売開始される予定です。

トピックス
TOPICS 1
表彰

本市教育委員として長年務められ、令和4年12月26日に退任された森山氏へ、市から表彰状が贈られました。



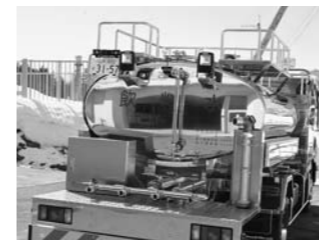
▲2月27日、市役所で行われた表彰式で、市長から森山千洋氏(写真中央)へ表彰状が手渡されました。

教育委員 功労表彰
森山千洋氏(押切)

森山氏は、平成22年12月〜令和4年12月までの12年間に、尾花沢市教育委員として本市教育行政の発展に尽力されました。

森山氏は、急激に少子化が進む中で、平成24年度から進められてきた市内小中学校の統廃合や、令和4年2月に策定された「尾花沢市小中学校のあり方に関する基本方針」によって今後の小中学校の具体的な統合に道筋を示すなど、子どもたちのより良い教育環境づくりに取り組み、多大な貢献をされました。

トピックス
TOPICS 2
給水タンク車
新規導入



◀給水口は4つ。一度に4人分の給水が可能。

尾花沢市大石田町環境衛生事業組合に、新しく車両一体型給水タンク車を導入。2月1日、豊田水源場(大石田町)で安全祈願祭が行われました。



▲導入した給水タンク車は、県内でも最新の設備を備えた車両。断水時の市民への給水対応はもちろん、災害時に他自治体から要請があった際は、被災地へ出向き、給水支援も行います。

新たに導入された給水タンク車は、全長約6m、高さ約2.6mで、給水タンクの容量は3千ℓ。圧送式により、学校など約20mの高さにある受水槽にも水を送ることができ、また、気温がマイナス20度でもタンクの水が凍らない、県内初導入の寒冷地仕様車です。

頻発する自然災害などによって断水が発生した際、より迅速に市民への給水支援ができるよう、今後も対応を強化していきます。

2050尾花沢市ゼロカーボンシティへの
チャレンジ シリーズ⑦ 最終回



始めてみよう！ゼロカーボンを実現するために私たちにもできること。

令和4年9月15日号から掲載してきたこのシリーズも今回で最終回。これまで紹介してきた住宅の断熱化や自動車のエコドライブ、食品ロスをなくす取り組み、省エネ家電で電気代節約、再エネ設備の導入などを私たち一人一人が心がけて実践することにより、二酸化炭素などの温室効果ガスを減らし、地球温暖化を防ぐ第一歩となります。

最後に、今すぐできることを3つ紹介します。家族や友人同士で話題にして、みんなで実践しましょう。

ゼロカーボンへの意識と行動が、自分たちの今の暮らしを守ることにつながることを忘れずに…。

今すぐやれる 3つの心がけ

- 1 「っぱなし」にしない**
 - 暖房・冷房の部屋の扉を開けっぱなしにしない
 - 水を出しっぱなしにしない
 - 使わない電気製品の電源を入れっぱなしにしない(スイッチをこまめに切る)
- 2 ごみを減らす・分別する**
 - ごみの処分には大量の重油が使用され、二酸化炭素が発生しています！リサイクルできるものはないか、もう一度ごみを見てみよう。
 - 二酸化炭素が排出される使い捨てプラスチック製品もなるべく控えて。
- 3 自分の住む地域を学ぼう**
 - 尾花沢がこのまま温暖化が進むとどうなるか、景色を見たり近所の人たちと話したりしてみよう。
 - 昔と比べてどう変わりましたか？
 - 温暖化の影響はもう出ていますか？

◆環境エネルギー課 生活環境エネルギー係 ☎(22)1112

Pic up News



▲「市が行う健康増進事業をより多くの人に広めて後押ししていきたい」と語る明治安田生命保険相互会社の勝部一成山形支社長(写真左側)。

2月8日、市役所で「尾花沢市と明治安田生命保険相互会社との健康増進に関する連携協定締結式」が行われました。

明治安田生命は、保険事業のノウハウを生かし、地域と連携して健康応援活動を行っています。

この協定締結により、生活習慣病予防やがん対策、健康づくりなどの取り組みを本市と連携・協力して行っていくこととなります。

明治安田生命との健康増進に関する連携協定締結

第47回 尾花沢
雪まつり
 徳良湖
WINTER JAM

写真ダイジェスト

4年ぶり本格開催に大にぎわい
 雪にあそんだ2日間

2月25日・26日に徳良湖畔で行われた雪まつり。新型コロナウイルスの影響で規模を縮小していましたが、今年は4年ぶりに本格的な開催となりました。時折晴れ間が出るものの、吹雪に見舞われた2日間。しかし、会場となった徳良湖グラススタジオ旭周辺には、市内外から約3千人が訪れ、降りしきる雪をもとめせず、子どもから大人まで皆笑顔で思いっきり楽しんでいました。

こちらのインスタも
 要チェック!
 写真・動画が見られます



尾花沢市地域おこし協力隊
 インスタグラム



商工観光課
 公式インスタグラム



雪上人間ボウリングにチャレンジ!

大人気!
 雪山すべり台

GoGo!
 スノーバイク選手権



5m
 ワンメイクJAM!



スノーモビル体験



雪板体験



スノーバギー体験



尾花沢市民雪研究会展示会場で山形東高
 校生が雪と温泉を利用した発電の成果を発表



徳良湖の夜空に上がった
 雪中花火



おばねの「とんと昔」

各集落では
 イルミネーション
 開催



「雪像作りご苦労さま〜」って...
 かかしてました。
 (西原地区)

雪まつり会場の雪ごろうもライトアップ!



(中刈地区)



(毒沢地区)



(丹生3地区)



(丹生2地区)



(関谷地区)



(行沢地区)



(荒町地区)



(名木沢地区)



オープニングセレモニー
 雪ごろうがそりに乗って
 やってきた!



Diary 尾花沢市ワーケーション実証モニターツアー
2/20~22 徳良湖の自然を楽しみながら仕事ができる環境を実感



▲昨年10月にWi-Fiやスクリーンを整備した徳良湖自然研修センターでリモートワーク。「コーヒーが飲める場所や自販機がほしい」とのリクエストも。



▲大自然の中で雪のアクティビティーに初挑戦！「違う季節にも来てみたい」との声がある一方「尾花沢まで自分だけで来るのは難しい」との意見も。



▲バギー体験の様子



▲そば打ち体験の様子

徳良湖自然研修センター内の「コワーキングスペース」を利用して仕事をしながら余暇も楽しんでもらい、ワーケーションの誘客を探るモニターツアーが開催されました。参加したのは日本航空とグループ会社の社員5人。羽田や大阪の空港に勤務する皆さんからは「徳良湖は静かで仕事がかどった」と高評価。スノーバギーやスノーモビルなどのアクティビティーやそば打ち体験、銀山散策や市道の排雪作業の見学もして、仕事をしながら冬の尾花沢も満喫する3日間を過ごしていました。

Diary 2/19 メープルサップ採取体験
冬のほその村で
大自然を楽しもう



清流と山菜の里ほその村でメープルサップ採取体験が行われ、市内外から13人が参加しました。五十嵐幸一さん指導のもとイタヤカエデに穴をあけ、樹液を溜めるタンクを設置。その後雪のすべり台で遊び、打ちたてのそばを味わって、参加者は冬の細野地区を堪能しました。



今年の干支にちなみ、ウサギの姿に盛り付け。おいしくいただきながら、佐藤氏と子どもたちは交流を楽しみました。

Diary 2/21 宮沢小5・6年生「さわのはな」料理教室
幻の米でフランスのスイーツ「リオレ」を作ろう

東京でフレンチレストランを開いているシェフ佐藤豪氏(関谷出身)を講師に「さわのはな」を使った料理教室を開催。米を牛乳で炊き、甘く味付けたフランスの米のプリン「リオレ」作りに挑戦しました。佐藤氏が見せると、子どもたちはプロが料理をする姿に興味津々。その手さばきに驚いていました。

おばなざわ日記 Diary Obanazawa

※撮影のため一時的にマスクを外している写真があります。
※イベント等は新型コロナ感染防止対策をとった上でを行っています。

Diary 1/27・2/8 マンドゥバッグ作り教室
韓国で流行のもこもこ
バッグを作ってみよう！



5地区公民館合同で「マンドゥバッグ」作りが行われました。参加者は、市内で韓国カフェを営む菅野さんを講師に、道具を使わず指を使って太さ約3cmの中綿入り極太糸を編み上げ、2時間ほどで完成させていました。



▲尾花沢中学校で行われた贈呈式。代表の高橋郁志さんが「地域のおじいちゃんおばあちゃんたちも皆さんを応援しています」と生徒たちを励ました。

Diary 2/14 尾花沢中・福原中の3年生へ
受験生を激励！
だるまポスター贈呈

地域の居場所づくり等の活動をする「おぢゃのんで家」の参加者が、だるまの塗り絵を貼り、応援メッセージなどを書いたポスターを作成。市内中学3年生に贈呈し、受験に向けて勉強に励む生徒たちを激励しました。

Diary 2/22 そばガールズ ピンクッション贈呈
家庭科の時間に使うのが
楽しみだね



▲福原小学校で行われた贈呈式。「自分も作ってみたい」「皆とおそろいでうれしい」と喜ぶ児童たち。

北村山高校そばガールズの皆さんが、端切れとペットボトルキャップを使ってピンクッション(針刺し)約300個を作成。5年生から始まる家庭科の授業に合わせ、尾花沢市・大石田町の小学4年生に贈呈しました。



Diary 2/24~26 宮沢地区新春作品展
会場いっぱいの
手作り作品

宮沢地区公民館を会場に新春作品展が開催され、3日間で延べ300人が来場。訪れた人たちは、一つ一つ丁寧に作られた様々な作品を鑑賞しながら作り方やアイデアの情報交換をし、おしゃべりを楽しんでいました。



ACCESS My Class

アクセス マイクラス

尾花沢小学校
6年2組(31人)



※撮影のため、一時的にマスクを外しています。

先生からのひとこと

阿部 夏実 先生

個性あふれる31人と過ごせるのも残りわずかだと思ふと寂しいです。やりたいことを全部やって、悔いの残らないように卒業を迎えてほしいと思います。

もうすぐ卒業！

私のクラスは、どんな時でも協力して乗り越えるクラスです。今年の学習発表会では、みんなで何度も相談しながら創作劇を創り上げました。

今、6年2組では、卒業文集や卒業プロジェクトに取り組んでいます。お世話になったこの学校に恩返しをしようと考えてきました。6年間通った校舎に、感謝の気持ちを込めて、一生懸命掃除をしたいと思います。

卒業まで残りわずかとなりました。卒業に向けての日めくりカレンダーで、カウントダウンをしています。このメンバーと過ごせる日々を大切に、みんなで元気に卒業式を迎えたいです。



尾花沢小学校6年2組
齋藤 優菜さん
(上町2)

3月も半ばになり、全国的にも桜の開花が話題になる時節になりました。

3月は日本の暦では「弥生(やよい)」と言われますが、その由来は、暖かな陽気にすべての草木がいよいよ茂るといふ「弥生(いやおい)」がまつた言葉とされているようです。そして「弥」には「いよいよ、ますます」という意味があり、「生」は「草木が芽吹く」ことを表しているそうです。

さて、現在3月定例会で審議中の令和5年度予算案について、若干触れさせていただきます。

この度の予算編成は、私にとって初の当初予算編成でした。私の掲げる「市民が主役のまちづくり」の推進に向けたチャレンジの第一歩となります。その一般会計予算案の総額は17億4千万円で、前年度に比べて6億1千万円、5.1%の増額となりましたが、特に次の6項目に重点的に取り組んでいきます。

- ① デジタル技術を活用した利便性向上に関する事業
- ② 暮らしやすさの創造に関する事業
- ③ 出産・子育て環境の充実に関する事業
- ④ 最適・最新の教育環境の整備に関する事業
- ⑤ 尾花沢ファンの拡大に関する事業
- ⑥ 地元就労の促進に関する事業

これらの事業を着実に進めることで、本市の豊かな未来を創ることができるよう努めてまいります。事業の詳細については、議会や市報などを通じて後日改めてお知らせします。

まだまだ寒暖差の厳しい時期ですので、皆様くれぐれもご自愛ください。

尾花沢市長 結城 裕



市長コラム



地域おこし協力隊

奮闘記

会田隊員のInstagram (ID:OBANE_NO_SOB) 活動の様子を随時更新しています!



▲そばをこねている様子。水加減が非常に難しいです。



▲そばをのしている様子。厚さを均一にきれいに伸ばすのは大変ですが、段々とできるようになってきました!

お久しぶりです!地域おこし協力隊の会田朋史です!

現在、初めて冬の尾花沢を過ごしていますが、雪の迫力に圧倒されています。ただ四季がはつきりとしている、自然豊かなところが魅力的な地域だと日々感じています!

さて、春から秋頃まではそば栽培に携わっていましたが、この冬の期間は蕎麦屋開業を目指して、蕎麦打ちを学ばせていただいています。尾花沢そば街道一番所「手打ちそば たか橋」店主の高橋晃治さんより蕎麦打ちの極意を学んでいます。これまで蕎麦打ちの経験は全くなかったのですが、本当にゼロからのスタートです。水加減が非常に難しい「水回し」「こね」の工程から少しずつ始めていき、現在は生地を厚さを均一に伸ばし広げる「のし」の工程、「切り」の一部まで挑戦中です。一つ一つ丁寧に指導していただける環境を設けていただけに本当に感謝の気持ちでいっぱいです。蕎麦打ちの技術を早く習得して、学んだことを尾花沢に還元できるようにこれからも頑張っていきます!

来年度は、今年度学んだことを丁寧に整理してわかりやすく発信する活動にしていきたいと思っています。目標に向けて急がず焦らず、一歩ずつ前進です!

そばマスターへの道『エピソード』

蕎麦打ちの技術を学ぶ



会田 朋史 隊員

首都圏だより

Letter from Metropolitan Area



大河ドラマ「どうする家康」に影響され、上野東照宮を参拝してきました。上野公園内に鎮座しており、JR上野駅公園口から徒歩で向かいます。日に日に春めき、国内外からの観光客も回復しつつあり、公園内はコロナ禍の終息を感じさせるにぎわいでした。5分ほどで到着、大石鳥居をくぐって、諸大名より奉納された大きな石灯籠が並ぶ参道を進むと、黄金に輝く唐門と透塀、その奥の金色殿(社殿)が見えてきます。



首都圏尾花沢会会長
もりやま かおる
森山 馨 さん
(押切出身)

寛永4年(1627年)、天海僧正と藤堂高虎らによって創建され、現在の社殿は慶安4年(1651年)に徳川家康の孫の家光によって改築されたもので、江戸初期の建築は貴重です。金箔や彩色の施された建物は、まさに豪華絢爛。その多くが国指定重要文化財です。

上野戦争、関東大震災や第二次世界大戦による被害を脱がれた強運の神様として、また祭神が家康ですから出世、勝利、健康長寿の神様として信仰されています。

1時間あれば拝観して駅に戻れます。久能山や日光もいいですが、東京にお越しの際は立ち寄ってみてはいかがでしょうか。



尾花沢市役所 代表 ☎(22)1111

丹生第2地区で「おさいとう」 稲わらの火に願いを込めて

2月19日、丹生第2地区で行われた伝統行事「おさいとう」。真冬には珍しく雨模様でしたが、竹の支柱と稲わらで組んだやぐらに火をつけると、あっという間に夜空高く燃え上がりました。地区民たちはおさいとうの火にあたりながら、無病息災、五穀豊穡、家内安全などを願いました。



大石田駅東口待合所 閉鎖のお知らせ

大石田駅東口待合所は天井剥落による危険性があるため、4月1日(土)から待合所を閉鎖します。西口(大石田側)への連絡通路、駐車場、駐輪場は引き続きご利用になれます。

ご理解とご協力をお願いします。
☎ 市民税務課 市民生活係
☎(22)11117

路線バスのダイヤ改正による 細野線の廃線・原田線の変更と 「路線バス時刻表」配布のお知らせ

4月1日(土)から、路線バスのダイヤ改正により、細野線は廃線となります。

また原田線は、市役所〜徳良湖(花笠の湯)間で、休日(土・日・祝日・12月31日〜1月3日)のみの運行に変更となります。

3月15日号の市報と一緒に「路線バス時刻表」を配布しています。
☎ 市民税務課 市民生活係
☎(22)11117



保険証が変わったら必ず 届出をしてください！

尾花沢市の国民健康保険から他の健康保険へ変わった場合、尾花沢市の国民健康保険から抜ける手続きが必要になります。

保険証が変わった後に、市の国民健康保険証を使って診療を受けた場合、市の国保で負担した医療費を後日返還していただくこととなります。

また、社会保険を抜けた方、社会保険の被扶養者から外れた方は、国民健康保険に加入する手続きが必要です。

☎ 健康増進課 国保医療係
☎(22)11118



令和5年度 固定資産税 土地・家屋価格等帳簿の縦覧

期間 / 4月3日(月)

～5月31日(水)

※土・日・祝日を除く

時間 / 午前8時30分〜午後5時15分

場所 / 市民税務課(市役所1階)

縦覧できる方 / 市内に所在する土地・家屋の固定資産税の納税者、その家族等代理権を有する方

持ち物 / 右記の条件を確認できる書類(運転免許証、マイナンバーカード等本人確認ができるもの)

☎ 市民税務課 資産税係

【内線125・126・127】

令和5年度 農地法等 各種申請締切日のお知らせ

農地の貸借、売買、転用、農地改良等を行う場合は、事前に農業委員会への申請・届出が必要です。
各種申請締切日 /

令和5年

4月10日(月)、5月10日(水)、

6月9日(金)、7月10日(月)、

8月10日(木)、9月8日(金)、

10月10日(火)、11月10日(金)、

12月8日(金)

令和6年

1月10日(水)、2月9日(金)、

3月8日(金)

締切を過ぎた場合、翌月分の受付となりますのでご注意ください。

☎ 農業委員会事務局
☎(22)11115

水道メーターの検針を開始します

上水道地域(二藤袋を除く尾花沢地区、福原地区)では、4月15日から水道メーターの検針を開始しますが、積雪により検針を行えない場合があります。

万が一、冬期間に漏水事故等が発生していた場合、水道料金の負担が高額になるだけではなく、敷地や建物へ悪影響を及ぼす可能性があります。

お客様には、春の早い段階から水道メーターボックスの除排雪をお願いします。

☎ 尾花沢市大石田町環境衛生事業組合 上下水道課
☎(23)2161

北村山視聴覚教育センター からのお知らせ

【土曜日の一般公開日】

開館日 / 3月18日、25日、4月1日、8日、15日、22日

(4月29日は第5土曜日のため休館)

■ 入場料 / 無料

■ 内容 / 映画、プラネタリウム
※予約優先です。下記QRコード

または申込用電話から予約して

ください。

■ 申込用電話

☎ 0237(53)0695

(平日午前8時30分〜午後5時15分)

☎ 北村山視聴覚教育センター
☎(55)4211



「調停手続相談会」開催

日時 / 3月25日(土)

午後1時〜午後4時

場所 / 鶴葉プラザ

(村山市榎岡五日町14-20)

■ 相談内容 /

- 民事関係(金銭・土地建物・交通事故・相隣関係・その他)
- 家事関係(夫婦・離婚・親子・扶養・相続・財産分与・その他)

■ 相談料 / 無料

■ 相談員 / 裁判所の民事・家事調停委員

※事前の申込みは不要です。当日直接お越しください。

※中止の場合は、裁判所HP(山形地方裁判所のページ)にてお知らせします。

※お問い合わせの際は、「調停手

介護家族の会 集い&出張カフェ開催

介護にお困りの方、関心のある方など、会員に限らずごなたでも参加できます。

日時 / 3月25日(土)

午後1時30分〜午後3時30分

場所 / フロスカルチャープラザ

(桂桜会館)(大石田町緑町8)

■ 内容 / 介護者相互の交流

■ 参加料 / 150円(飲み物代)

☎ 在宅介護を支える家族の会
☎090(2844)1150



あひらがと



◎ 尾花沢小学校へ

● 朝日写真ニュースパネルセット一式
(株奥山建設工業所)

